

会 議 録

（ 7 - 1 ）

会議の名称		令和6年度 第4回春日部市子ども・子育て支援審議会		
開催日時		開 会	午前 10 時 00 分	
		閉 会	午前 11 時 35 分	
開催場所		本庁舎2階会議室 201・202		
議長(会長等)氏名		会長 石塚 勝美		
出席者	委員氏名	(出席人数：13人) 石塚 勝美、角坂 清博、山田 農久、中島 邦彦、上田 みどり、 鈴木 京子、太田 勝基、山崎 純平、シュレスタ アビシユク、 シャキヤ ソスティカ、田中 あんず、高取 佳代子、大島 康裕		
		説明者 その他	子ども育成課子ども育成担当主幹 神風 武志	
		事務局	(出席人数：8人) 子ども未来部長 森田 温美 子ども未来部副部長 野口 勉 子ども育成課長 手崎 貴代公 保育課長 長崎 能徳 障がい者支援課長 染谷 学 子ども育成課子ども育成担当主幹 神風 武志 子ども育成課子ども育成担当主査 星野 千絵 子ども育成課子ども育成担当主事 渡邊 優花	
	1. 開 会			
	2. 議事報告 (1) 春日部市子ども・若者計画（案）について (2) 答申（案）について (3) その他			
	3. 閉 会			
	一部公開・非公開の 場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：	
	配布資料		資料1 春日部市子ども・若者計画（案） 資料2 パブリックコメントにおける意見の対応について 資料3 答申（案）について	
会議録の作成方法		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録		
会議録署名の指定		会議録の署名は、会長が行うものとする。		

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事報告</p> <p>(1) 春日部市こども・若者計画(案)について</p> <p>＜事務局より、資料1「春日部市こども・若者計画(案)」、資料2「パブリックコメントにおける意見の対応について」の説明＞</p> <p>12月27日(金)～1月26日(日)にパブリックコメントを実施、7人13件の意見があり、2件を計画に反映した。</p> <p>資料1、75ページ第6章の推進体制の図を修正、表紙のデザインは児童センター等で投票して決定した。</p>
会 長	事務局からの説明に意見等あればお願いします。
委 員	ひとり親家庭等への支援に対するパブリックコメントについて私見を述べたい。なぜ調停しないといけないのか。それで会えるわけではない。別居している親に会いたいののに会えないこどもが多いと感じた。面会交流の約束を破っても事実上の罰則がない。夫婦の問題とこどものことを混同してはいけないと思う。
会 長	こどもが会いたくない場合の議論が足りなかったかと思う。こどもと会えない親がかわいそうだといいところもあるが、(暴力などの事情により)こどもが会いたくない場合、こどもと配偶者を引き離すために離婚するということもあるかもしれない。
委 員	離婚して何年も会えなかった親に会いたくないというこどもはいないと思う。同居している親が、相手方に対してもう会わないでほしいと思ったり、こどもが別居している親が何をしているのか、今どこにいるのかという話をすると親が嫌な顔をするなどという例も聞く。こどもが会いたくないと言っている場合は、臨床心理士により、なぜそう思うのかを精査すべきだと思う。
会 長	ご意見はよくわかる。こどもは親に会いたいものであると思うが、ごくまれに、こどもが親に会いたくないということもあるかもしれないので、強制的に合わせるのではなく、こどもの権利をまず主眼に置くことを含めて進めていくべきではないかと思う。
委 員	ひきとられた側にいるこどもは、こどもなりに空気を読んでいる。(離れて暮らす親に)会いたくない子もいるし、会いたいののに会えない子もいるので、こどもが意見を言えるようにする環境が整うとよい。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	人それぞれだと思うので、専門の人が聴けるような仕組みがあると良い。
会 長	資料2 No. 4 外国人という表記はどうか（違和感はないか）。
委 員	言い方によるが、「お前は外国人だから」などと言われると少し悲しい。外人といわれるよりは外国人の方がよいと感じる。
会 長	もう少しやわらかい言い方にならないか。
委 員	「外国籍の方」などになるかと思う。
会 長	「外国籍の方」という表現と「外国人」では受取り方はどうか。
委 員	外人は嫌な気持ちがあるが、外国人は別によい。外国籍の方でもかまわない。
委 員	自身の経験では、海外から来た方を紹介するときは「(国の名前)から来た〇〇さん」と言うようにしてきた。外見でわかるところもあるので、ニュアンスに気をつけないと周りのこどもにも影響する。
会 長	「外国籍の方」でよいのではないか。インクルージョン、ダイバーシティなど、カタカナがよく出てくる。インクルージョンの意味は市民はわかるだろうか。
委 員	和訳を入れてはどうか。
会 長	インクルージョンとは何か。
委 員	受け入れるということ。単に受け入れるだけではなく、文化もその人の考え方もすべて受け入れることかと思う。
会 長	カタカナの用語の意味がわからないものが含まれているのではないか。変えてほしいということではないが、浸透していない単語であれば、説明を加えたほうがよいのではないかと思う。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	<p>(2) 答申(案)について <事務局より、資料3「答申(案)について」の説明></p>
委員	<p>「2」子ども・若者の意見の反映について、意見の決定は多数決で決まるのか。予算の都合があるのではないか。子どもの意見はお金がかかるものが多い。はっきりと予算がかかるものはできないと書いた方が子どもたちも現実的に考えると思う。</p>
事務局	<p>審議会からも子どもの意見を重視して取り組んでほしいという意見を基に、記載している。</p>
会 長	<p>子どもたちが具体的に意見のあるときはどうすればよいか。</p>
委 員	<p>公民館や児童センター等に子どもの意見箱を置いてはどうか。予算との兼ね合いもあると思うが、小さいことから始め、「こういう意見が採用された」という形で意見が反映された経験があるとよい。</p>
委 員	<p>郵便局の市長への手紙を入れる箱を子どもたちが興味を引くようにかわいらしく、目立つものにするとよいと思う。</p>
委 員	<p>学校と協力してもよいのではないか。</p>
委 員	<p>子どもの意見を聞く場を作ることはよいことである。市民センターで、子どもに意見を聞く出前講座をやってはどうか。イベントをやると子どもは予想より多く集まる。</p>
会 長	<p>そういう場で、市とタイアップして意見を聞いてもらうとよい。子どもがスマホ等を使って非対面で意見を出すのは難しいか。</p>
委 員	<p>スマホより会って話した方が理由なども聞けてよいと思う。</p>
委 員	<p>P T Aにおいても自分の学校でやってみたいと思う。</p>
会 長	<p>「2」の「叶えることができるまちの実現に向けて、子ども・若者の意見を反映し」は、具体的に行動する意気込みを示すために「積極的に取り入れる仕組みを構築し」とするのはどうか。</p>
委 員	<p>「4」にも大人だけの考え方だけでなく、「子どもの意見を反映しながら」を追加してほしい。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
会 長	「こども当事者の意見を反映し、大人も我が事として」ではどうか。
委 員	「4」学校の部活動のありかたについて、部活動だと中学生以上が対象となる。小学生は対象外となってしまうのではないか。
事務局	こどもの居場所づくりが「4」のメインだが、学校の部活動のあり方について、前回の審議会でもご意見があったことを踏まえ、「学校部活動のあり方の変化にも」ということも含め記載している。中学校の学校部活動は色々変化しているので、中学校に入学する小学生の意見を参考に考えていければと思う。
会 長	ひらがな表記の「こども」や、「居場所」となると小学校のイメージも強くなる。居場所づくりということで、小学生（の活動）を含む表記としてはどうか。
委 員	「学校から帰宅した後の居場所づくり」という捉え方になるのか。
会 長	小学校には部活動がないので、部活動だけではない。
委 員	対象は部活動を終えた後の小・中・高か。高校は対象ではないのか。
委 員	「放課後活動」がよいのではないか。
委 員	こども・若者計画の定義をみると、高校も入るのではないか。
委 員	市民センターには高校生も来ている。
委 員	こどもというのは0～18歳なのではないかと思うので、「学校部活動のあり方の変化にも対応した」は入れなくてもよいのではないか。部活動が重要なのもかもしれないが、就学前のこどもも対象に入っている中で、学校活動は全て入っている。
委 員	入れるなら逆にしてはどうか。「居場所づくりにあたっては」が重要なので、部活動を入れるのであれば、この後にまた、という形で後ろに持ってくれば全体的に居場所づくりが主になると思う。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	内容を「こどもの居場所作り」、「学校部活動のあり方」に分けた方がよいと思う。
委 員	ここで扱う部活動は中学校の先生が放課後やっていた部活動ではなく、将来的に学校から離れて地域の方に指導してもらうものと考え、と、「部活動」という言葉はそれほど重要だろうか。
委 員	部活動のあり方については今変わっている途中なので、「部活動」とあればわかりやすい。「部活動」と入れた場合、なくなった時に修正をかけるなどするとよいと思う。
委 員	「部活動のあり方の変化にも対応した」であれば、文言としていれてもおかしくないと思う。「課外活動」という意見も出たので、「課外活動や学校部活動のあり方の変化にも対応した」でもよいと思う。
会 長	意見の下から5行目の「包含する」、「こども当事者」はこのままでよいか。包含の意味はわかるか。
委 員	関与するということかと思う。
会 長	この点については、このままでよい。
事務局	<p>2 「こども若者の意見反映について」は 『基本理念として掲げた「すべての こども・若者の権利が守られ、それぞれのしあわせを思い描くことができる、そして叶えることができるまちの実現」に向けて、こども・若者の意見を積極的に取り入れる仕組みを構築し、取り組まれない。』</p> <p>4 「こどもの居場所づくりについて」は 『居場所づくりにあたっては、地域・産学官が連携し、こども・若者当事者の意見を反映しながら、大人も我が事として創出していく意識で取り組まれない。また、課外活動や学校部活動のありかたの変化にも対応した、こどもの居場所づくりを進められたい。』 に修正する。</p>
事務局	<p>(3) その他</p> <p>答申は3月5日に会長、副会長が提出する。来年度は3回の会議開催を予定している。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
会 長	他に意見はないか。
委 員	<p>【面会交流に関する意見が述べられる。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面会交流を支援しているNPO法人の活動について ・市の支援提案（アプリ活用・日程調整・交流日引き合わせ）
会 長	他に意見はないか。
事務局	本日配付しているこども若者計画（案）については、庁内で最終的な文言の確認等を行い、内容を反映する。
会 長	<p>軽微な点はよいが、文言等が変わるなどあれば知らせてほしい。</p> <p>3. 閉会</p>
<p>議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和7年2月21日</p> <p>署名者の職・氏名 こども・子育て支援審議会会長 石塚 勝美 （原本署名）</p>	